

子供の視力最悪更新

文科省学校保健統計 スマホなど原因か

裸眼の視力が「1・0未満」の子供の割合が小中高で過去最高となったことが22日、文科省の2016年度学校保健統計調査(速報)で明らかになった。文科省は「スマートフォンやテレビゲームの長時間利用が影響したのではないか」とみている。

全国の5〜17歳の34万7千人(全体の25・3%)を対象に調べた。視力が1・0未満の子供の割合は小学校が31・46%、中学校が54・63%、高校が65・98%で、全てで過去最高を更新した。幼稚園は27・94%で、過去最高だった08年度(28・93%)は下回ったが、3年連続で上昇した。